

# チーム医療で復帰支え

## 済生会今治第二病院「回復期リハビリテーション病棟」



左から山内リハビリ科係長、池内リハビリ科長、堀池院長、文田看護部長、鎌田主任医療ソーシャルワーカー。いずれも済生会今治第二病院提供

## 質向上へ最新機器を導入

限となっています。近年、超高齢化社会の影響で、通所や外来が主流となり、入院は短くなる傾向にあります。高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援することが求められており、リハビリの効果の程度によって入院期間を調整できる仕組みになっています。

「リハビリでは、どのような工夫をされていますか。」

池内科長 医師、リハビリスタッフ、看護師、介護福祉士、医療ソーシャルワーカーが月に1度集まって患者さんの病状や自宅の状況などの情報を共有し、それぞれに合ったリハビリプランを立てています。

当院では、訓練室でのリハビリは、患者さん自身の目標を大切にする上で必要な動作を全てをリハビリだと捉えています。トイレや入浴、洗濯などの場面においても、患者さんが現在持っている身体能力を最大限發揮できるような介助を心がけています。

また、最新のリハビリ機器を導入していることも特徴です。

山内愛りリハビリ科係長 障害を受け入れるには時間がかかります。患者さんの思いに耳を傾け、心の回復にも気を配りながら進めていくことが大事です。必要があれば精神科医にもつなげます。

心を回復する上でも、患者さんご自身の目標を大切にしています。例えば「歩きたい」というご本人の目標に対し、まずは期限を決めて「足の曲げ伸ばしができる」といった小さな目標を設定します。段階的に課題を乗り越えることで、最終的な目標に近づけるようリハビリのプランを組み立てています。

## シリーズ 地域医療を考える

### 心の回復にも気配り

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「どれくらいどの期間入院しますか。」

堀池院長 回復期リハビリテーション病棟では、脳梗塞などの脳血管疾患の方は180日以内、骨折などは180日以内、手術後は1ヶ月以内の入院が期間の方は60日以内の入院が期間です。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

## 介護予防で市と連携も

また、高齢者の方に少しでも長く元気に生活していただくよう、21年度から今治市と連携して介護予防モデル事業に取り組んでいます。「転倒が増えてきた」「買い物に行けなくなった」など、足腰が弱ってきた高齢者を対象に、3カ月間短期集中で通所・訪問サービスを提供し、要介護状態にならないよう心身の調子を整えるものです。

介護予防では、いかに日常生活に運動を組み込んでいくかが重要です。このモデル事業では、入浴中のできる運動や起床時のできる運動など、「日常生活の中に運動を取り入れる」ことに主眼を置いています。リハビリの専門職が個々の生活に応じた自主訓練メニューを提案、指導し、参加者の身体機能が向上するなどの効果が表れています。今後、さらに効果が認められれば、今治市全体に取り組みを広げることが検討される予定です。

堀池院長 今治市の高齢化のスピードはとても早く、独居の高齢者も増えています。地域の方がいつまでも元気に生活できるように、熱い思いで支援させていただきますね。



入院中の歩行もリハビリ。握りやすさをサポートする杖



タブレット端末を使ってオンライン面会する患者

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。



今治市が主催する健康セミナーで講演するリハビリ専門職

## コロナ禍の面会タブレットで不安軽減

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。

「回復期リハビリテーションはどんな患者さんが対象ですか。」

堀池院長 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の方、脊髄損傷や大腿骨頸部骨折の方、人工関節置換術など外科的手術後の方など、多岐にわたります。病気を発症後1ヶ月以内の患者さんは症状の回復の可能性が高く、専門的リハビリを集中的に受けられることが大切なのです。